

2026年7月上旬

一粒書房 新刊のご案内

仏教／精神世界  
ご担当者様

〒475-0837 愛知県半田市有楽町7-148-1  
TEL:0569-21-2130  
Mail: book@ichiryusha.com

仏陀の修行法  
八正道より **八正道** 人として歩むべき道

A5判・並製本／322頁／定価：本体2500円＋税

湯田浩二〔著〕



【著者紹介】湯田浩二（ゆだ こうじ）

仏陀の修行法実践研究会 会長  
仏陀の修行法を実践・研究し、その内容を著書にて随時発表している。  
1953年、鹿児島市に生まれる。  
県立甲南高校、九州大学工学部、同大学院卒。  
川崎製鉄（JFEスチール）を定年退職後に、自動車関連企業で勤務し、定年退職する。  
愛知県在住。空手道六段。

ご存知のように、八正道というのは仏陀の修行法「三十七道品」の一つである。この「三十七道品」もしくは「三十七菩提分法」もしくは「三十七品菩提分法」は、仏陀釈尊直説の阿含經のみに記されている。中国に仏教が伝来した時、八万四千とも言われる大量の經典が一挙に伝来されたのである。そのため、まず最初に、どの經典が優れているのかを判別する必要に迫られたのである。そこで、經典の内容が種々異なるのは、釈迦が教えを説いた時期や内容が異なるためと考え、教えを説いた時期を分類し、その中でどれが最高の教えであるのかという、一つの判定方法として、各宗派によって様々な教相判釈が行われた。

それら数多くの教相判釈の中で最も支持されたのが、天台五時八教の教判、すなわち五時八教説（ごじはつきょうせつ）である。そのため、天台五時八教の教判が、最も正しいものであるとされたのである。そういう理由もあって、日本天台宗の最澄もこれを輸入し、延暦寺の中心思想となり、日本仏教界の常識になったのである。そして、仏陀釈尊直説の「阿含經」は、最低の經典にされたのである。「阿含經」では、次のように強調している。

幸福や不幸及び幸運や不運の成り立ちは、私達自身の（心・魂）の中にある。私達（人間）の心（意識）と念（思い）と行為（言動・行動）が、幸福や不幸及び幸運や不運を造り出しているのである。

仏陀釈尊は、2500年前に、そのことを多くの人々に教えて（説いて）いる。しかも、幸福（平安）へと導く「教え」だけではなく、それを達成するための「実践方法」も同じく教えて（説いて）いる。そして、仏陀釈尊の教えに最も近いとされる「阿含經」（ニカーヤまたはアーガマ）の中に、それは伝えられている。煩惱解脱に至るための八つの実践徳目である八正道は、その一つなのである。

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行：一粒書房 TEL.0569-21-2130
			湯田浩二〔著〕 仏陀の修行法 <b>八正道</b> 八正道より <b>八正道</b> 人として歩むべき道 A5判・並製本／322頁／定価：本体2500円＋税
		冊	ISBN978-4-86743-453-6 C0015 ¥2500E

ご注文は **JRCへ → FAX.03-3294-2177** ※返品条件付き注文扱い